EUROCAVE

目 次

■ ご使用になる前に ・・・・・・・・・・1
（安全のため必ずお守りください）
■ 各部の名称 ・・・・・・・・・・・・4
■ 電源とアース ・・・・・・・・・・・4
■ ワインセラー設置の前に ・・・・・・5
■ ワインセラーの設置 ・・・・・・・・6
■ ワインセラーを稼動させる ・・・・・7
■ 警告機能 ・・・・・・・・・・・・・・9
■ 収容棚 ・・・・・・・・・・・・・・11
■ 日頃のお手入れについて ・・・・・12
■ 故障かな？と思ったら ・・・・・・13
■ こんなときには ・・・・・・・・・・16
（運搬・停電などに際してのご注意）
■ 保証とアフターサービス ・・・・・17
・廃棄処分について
■ 仕様 ・・・・・・・・・・・・・・19

ラ・プルミエシリーズ 取扱説明書

このたびはEuroCaveワインセラーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書の内容をよくご理解の上、操作･管理をお願いいたします。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管しておいてください。本書を紛失、または損傷された場合は、速やかに当社またはお買い上げ販売店へご連絡の上、ご請求ください。また、当製品を譲渡されます場合にも、必ず本書を添付されますようお願いいたします。

⚠注意

設置後48時間以内は電源を入れないでください。

※トラックでの搬送時の振動や、搬入時の本機の傾斜により、コンプレッサー内のオイルや冷媒ガスが不安定になっています。正常な冷却運転には、設置後、静止時間をおいてオイルや冷媒ガスを安定させる必要がありますので、設置後48時間たってから電源を入れるようにご注意ください。
※備え付けの棚がしっかりと取り付けられているか、フックやレールが外れていないかをご確認ください。

■ご使用になる前に（安全のため必ずお守りください）

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

【表示の説明】

⚠危険	この表示は「死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの」を示しています。
⚠警告	
⚠注意	この表示は「傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの」を示しています。

【図記号の説明】

	絶対に行なわないでください。		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ず指示に従い行なってください。		絶対に水をかけたりしないでください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		絶対に濡れた手で触れないでください。

⚠危険

当製品には冷媒として R600a（イソブタン）を使用しています。このノンフロン天然ガスはオゾン層を破壊せず、地球温暖化への負荷が非常に少ないなど環境適合性に優れておりますが、可燃性の冷媒です。以下の点に十分ご注意ください。

ワインセラーの中で電気機器を使用しない

ワインセラー本体背面の冷媒配管に損傷を見つけたら、火気・電気機器を近づけない、また部屋の窓を開けて換気をする。
※併せて、速やかに当社（ご連絡先は背表紙をご覧ください）へご連絡ください。

可燃性スプレーは近くで使わない
電気接点の火花で引火・火災の原因になります。

ドアにぶらさがらない、引き出し棚に乗らない
セラーが倒れたり、手をはさんでけがをすることがあります。

お子様やペットをワインセラーの棚の上に登らせたり、座らせたり、ぶら下がらせたりしないでください
ワインセラーが傷んだり、転倒し、大けがをする恐れがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを必ず抜く
感電、けがの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

⚠警告

ドアには衝撃を与えない
衝撃を与えると、割れる危険があります。特にボトルや棚の出し入れにはご注意ください。

ワインセラー本体の背面に燃えやすいもの、熱に弱いものやカーテンなどを近づけない

引き出し棚を２枚以上引き出してボトルを並べない
ボトルの入った棚を一度に２枚以上引き出すと、重みで本体転倒の恐れがあります。引き出し棚は、１枚だけ引き出してボトルを入れ、並べ終わったら庫内へ押し戻してから次に並べる棚も同じように１枚だけ引き出して、ボトルを入れてください。

分解したり、修理・改造は絶対にしない
異常動作して、本機の故障、またはけがをすることがあります。

揮発性の引火しやすいものは入れない
ベンジン・化粧品・整髪料は引火爆発の原因になります。

傷んだコードやプラグ、差込がゆるいコンセントは使わない
感電、発火の原因になります。

お子様やペットがワインセラーの中に入って遊んだりしないように気をつけてください
お子様が鍵を閉めてしまわないように、鍵を常にお子様の手の届かないところに保管してください。

異常時（こげ臭いなど）は電源を切り、電源プラグを抜いて使用を中止する
異常のまま運転を続けると、漏電・火災の原因になります。

⚠注意

電源プラグはコードを引っ張って抜かない
コードが傷み、感電・発火の原因になります。

ワイン以外のものを保存しない
厳しい管理が必要な物は、本機では保存できません。

膨張防止バーははずさない
ワインの重みによる本体の膨張を抑えています。

電源プラグは、ほこりをとり、根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、不十分な差込は、発熱発火の原因になります。

電源はAC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
それ以外でのご使用は、発熱、発火の原因になります。

ワインの入れ替え等で電源を切った場合、再び電源を入れるのは10分以上経ってから行なう
電源スイッチは、短時間（数秒から数分）内に何度も操作するとコンプレッサの故障（強制停止等）につながります。

長期間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化などにより、感電や漏電・火災の原因になることがあります。

上に重いものや、水の入った容器を置かない
扉の開閉で落ちるとけがをすることがあります。
また、こぼれた水で絶縁不良になり、電源が落ちたり、感電の原因になります。

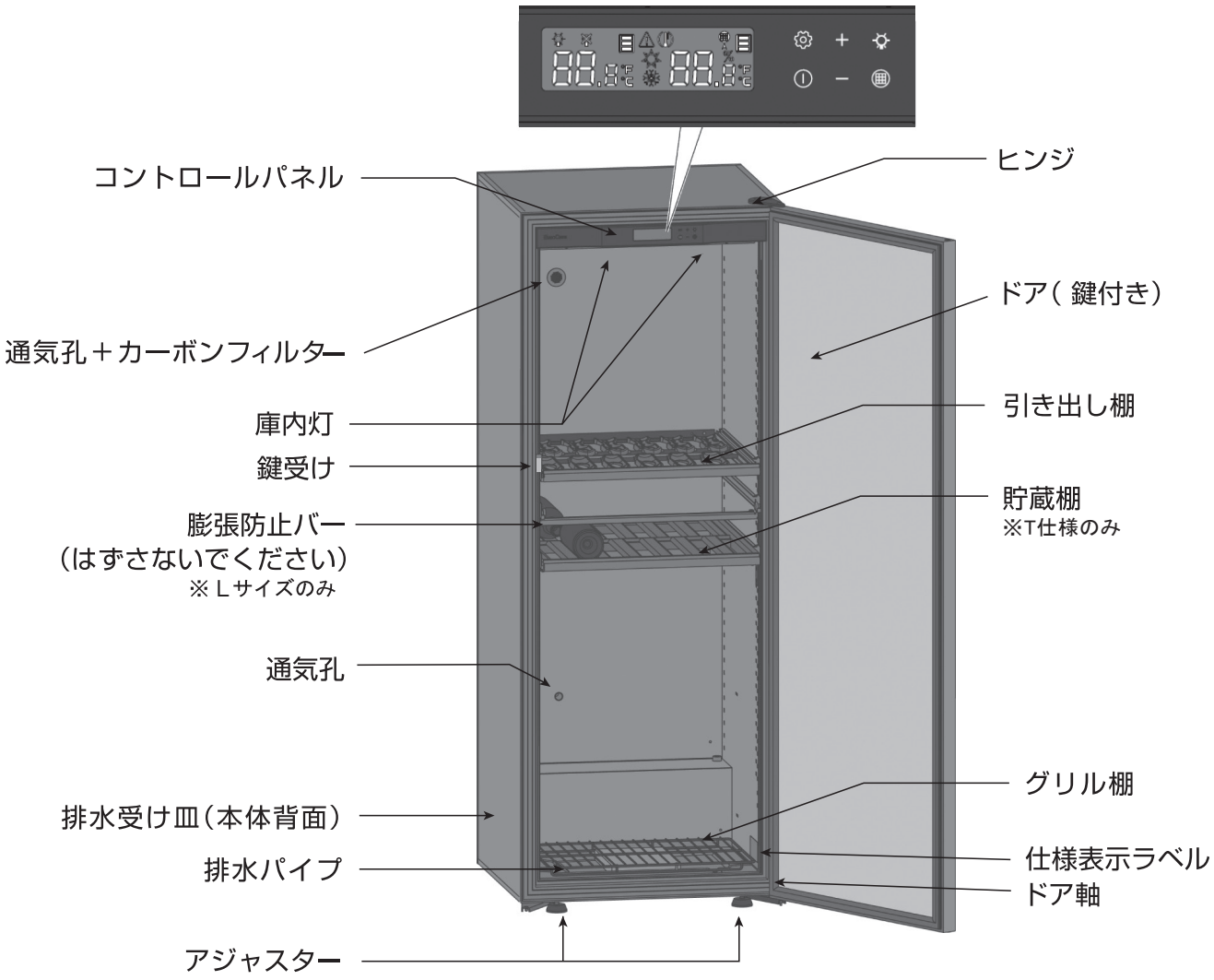
湿度が常時75%以上の場所、水のかかる場所への設置はさける
絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

廃棄処分するときは、家電リサイクル法に基づいて行なってください

万一の感電を防ぐために原則アースを取り付けてください

なるべく施錠してください
地震等で揺れた際の転倒を防止します。

■各部の名称



付属品	
●カーボンフィルター（出荷時に本体装着済）	●取扱説明書（本書）
●背面保護金具・取付ビス 2 個（本体背面上部に取り付け）	●ワイン整理用タグ（切ってお使いください）
●電源コード	

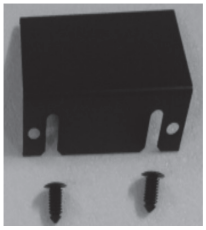
■電源とアース

付属の電源コードにはあらゆる電気ショックを想定してアース付の電源プラグを採用しています。
ご使用の際には原則アースを取り付けてください。

■ワインセラー設置の前に

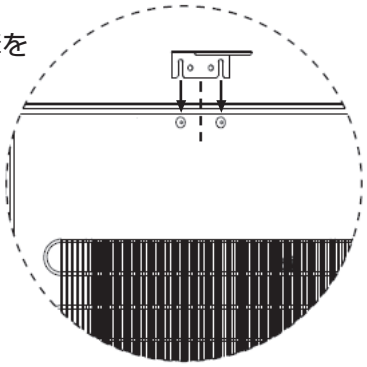
I. 背面保護金具の取付け

ワインセラーをご指定の位置に設置する前に以下の手順で背面保護金具を取り付けてください。

背面保護金具を取り付ける事により、ワインセラー背面の放熱スペースを確保し、また背面コンデンサーコイル（放熱網）の壁面衝突を防ぎます。	
用意するもの	＜付属品＞ ●背面保護金具 ●背面保護金具用取付ビス２個 

1. 右図のように、本体背面上部の２つの穴に、背面保護金具の山型の溝をそれぞれ合わせます。

2. その上から付属の取付ビスを穴に押し込み固定します。
（取付ビスと本体の間に背面保護金具を挟むようにします。）

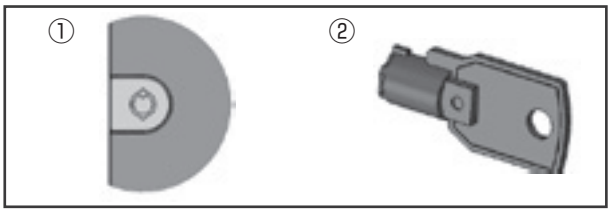


⚠注意　**取付ビスは一度挿し込むと抜けませんのでご注意ください。**

II. 付属品について

ドア鍵

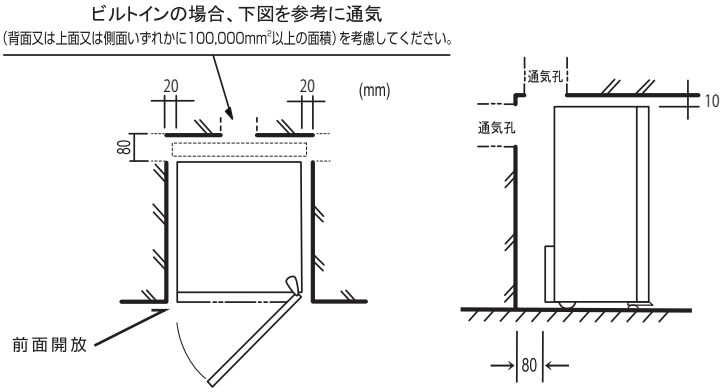
スペアキーと併せて2個付属しています。施錠、解錠の際は鍵穴（図①）に鍵（図②）を挿し込み押しながら回してください。



■ワインセラーの設置

Ⅰ. 設置に際してのご注意

●通気のよい場所に設置してください。放熱スペースが十分に確保できていないと、
庫内温度が設定温度まで下がらない、および結露水が過剰に発生する場合があります。ご注意ください。
●高温多湿・低温少湿となる場所は避けてください。
●床が水平で丈夫な所に設置してください。(耐荷重はお客様にてご確認ください)
●浸水の恐れのある場所には設置しないでください。
●電源コードを背面左下側にある専用のコネクターにつないでください。
●電源コードがセラー背面のどの部分にも接触しないようにしてください。
●設置から48時間たってから電源を入れてください。
●使用可能外気温は0～30℃（標準ドアSTDは32℃）です。
●ワインセラーを複数台並べて設置する場合にはセラー同士の間隔を40mm以上空けて下さい。
●後ろ側は壁から80mm以上、側面共20mm以上、本体から天井までは200mm以上のスペースをとってください。ビルトインにされる場合は、下図を参考にしてください。



⚠注意

● **安全上の理由により、床面より高い位置に設置することはおやめください。**

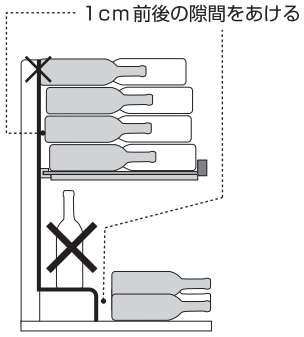
【設置を避けるべき場所の具体例】

○密閉状態の場所
○数台のコンプレッサー使用機器や熱のたまりやすい電気機器廻り
○屋外
○ガスコンロなど裸火付近
○食器洗浄器、オーブンレンジなど熱源付近
○通気孔のないビルトイン
○シンク・手洗い等水廻り周辺
○厨房周りなど
○寝室
○高度1000m以上の高所
○ひな壇など高さがある場所
○毛足の長い絨毯や畳など水平を取りにくい場所
○ガレージ等の屋外

Ⅱ. ワインボトル収納時のご注意

⚠注意

●ボトルなどが庫内奥の壁又はひな壇に絶対にあたらないようご注意ください。（図A）
ボトルやボトルに巻いている紙・ラップなどが奥の壁又はひな壇に接触すると、冷却された結露が接触した部分につき、ワイン自体を凍結損傷させたり、ラベルを濡らしてしまうことがあります。
●セラーの高さ全体にボトルを配分してください。
すべてのボトルをセラーの上部や下部だけに置くことは避けてください。
転倒の原因になります。



▲庫内内部を横から見た図
（図A）

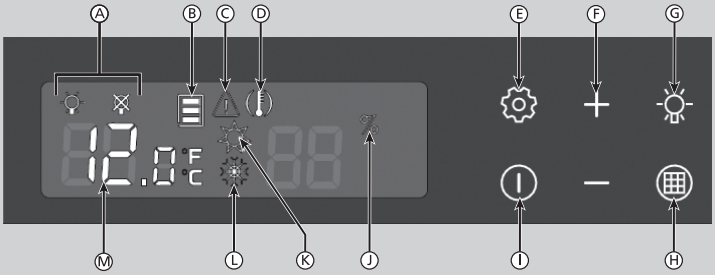
●危険ですので、引き出し棚にはボトルを積み重ねないでください。
●同時に２枚以上の引き出し棚を引き出さないでください。
ボトルとドアの重みで本体が転倒する恐れがあります。
●セラーの中ほどにセットされている膨張防止バーはとりはずさないでください。
ボトルの荷重による本体の膨張を防いでいます。（Ｌサイズのみ）
●揺れによる転倒防止のため、なるべく施錠してください。

■ワインセラーを稼動させる

I. セラーの稼動と温度調節

1. **設置後48時間たってから、**電源スイッチ を3秒程長押しして起動させます。
（電源を切るときも、電源ボタンを3秒程長押しします）
庫内温度が表示されます。

＜温度調節はすべて本体上部のコントロールパネルにて行います＞



A 庫内灯モード表示
B 温度((運転)ゾーン表示)
C 温度センサー異常警告表示
D 温度警告表示
E 選択・決定ボタン
F 選択・調整ボタン
G 庫内灯モード選択・決定ボタン
H カーボンフィルター残日数表示ボタン
(La Premiere では機能しません)
I 電源ボタン
J 湿度警告表示(点滅時)
K 加熱稼働表示
L 冷却稼働表示
M 庫内温度表示

タッチボタンは触れるだけで感知しますので、強く押す必要はありません。
操作時は軽く押してください。
また、ボタンを押すたびに指を離すようにしてください。

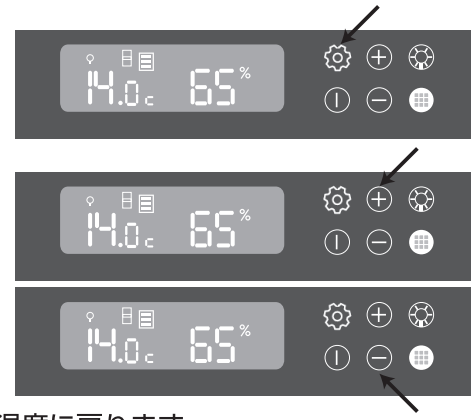
適正に機能させるため、少なくとも最大収容本数の75%のボトルを常時収容いただくことをおすすめいたします。

＜設定温度を調節する＞

2. ボタンを押すと、設定温度が点滅表示します。

3. 温度が点滅している間に ⊕ / ⊖ のボタンを押して、
8秒以内でお好みの温度に設定を変更してください。
8秒を超えると、表示は自動的に庫内温度に戻ります。

熟成貯蔵のための温度は9～15℃が理想とされています。



4. ボタンを押すと新しい設定が有効になり、表示は庫内温度に戻ります。

設定温度の範囲は9℃から15℃（ワインの保管と熟成に適した温度）です。（初期設定14℃）

設定温度を大幅に変更した場合、セラー内部の温度が安定し、希望の温度になるまでに、数時間を要することがあります。
多数のボトルを収納している場合、庫内温度が安定するまでに数時間を要することがあります。
セラーを初めてお使いになる時にも、こうした現象が見られる場合があります。これは機能障害によるものではありません。
数日間お待ちになっても、この現象が続く場合は、ユーロカーブ取扱店にお問い合わせください。
注)適正温度帯にない場所や温度変化の激しい場所に長期間収納されていた場合、ワインに悪影響を及ぼすことがあります。

⚠注意	**正しく機能するために、ワインセラーは0～30℃（標準ドアSTDは32℃）の部屋に置いてください。**

Ⅱ. 湿度表示

● ⊕ボタンを2秒間長押しすると庫内の湿度（平均値）が表示されます。理想の湿度は50%以上です。

Ⅲ. 庫内灯の調節

⚠注意　絶対に直接光源を見ないでください。目を傷めるおそれがあります。

●庫内灯のつけ方は２通りに切り替えができます。
●初期設定は常時消灯モードです。

・常時点灯モード
（ドアの開閉にかかわらず、常時点灯します）

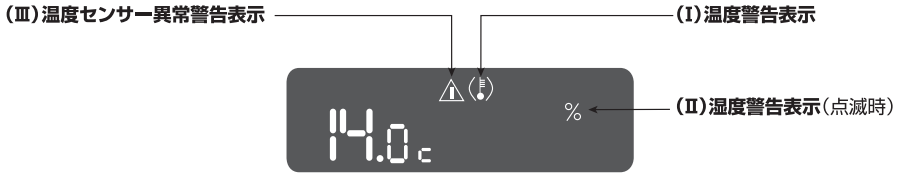
・常時消灯モード
（点灯しません）

①庫内灯モード選択・決定ボタン を長押しすると、現在の設定モードが点滅します。
② ⊕ / ⊖ ボタンを押して庫内灯モードを選択します（上記参照）。
③ を押すと設定が確定します。

■警告機能

庫内の状態変化をいち早く把握するため、以下の場合にコントロールパネルのディスプレイにアイコン表示されます。

●庫内温度と設定温度の差が非常に大きいとき
●湿度が低すぎるとき



Ⅰ.温度警告表示

セラーの庫内温度が**設定温度に対して24時間以上±4℃以上の差が出ると**、警告のアイコンが表示されます。

が表示されます。

温度が±4℃の範囲に戻らなければこのアイコンは表示され続けます。
※温度警告のアイコンは以下の場合にも表示されます。

●ドアがきちんと閉まっておらず、庫内温度に影響したとき
ドアを閉めしばらくすると庫内温度は安定し、アイコンは消えます。

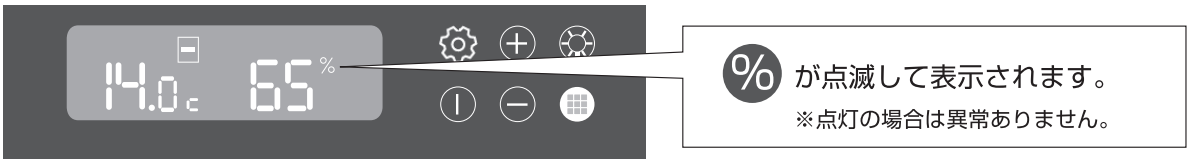
●ドアのパッキンが傷んでいるとき
ドアの密閉が悪くなり、庫内より高い温度の外気が多量に侵入し、設定した温度の範囲を超えてしまうことがあります。その際にはアイコンが表示されます。

●直前に多数のボトルを収容されたとき
設定温度になるまで時間がかかりますので、少しお待ちいただき改めて温度を確認してください。

これらの場合以外で警告アイコンが表示される場合は、「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、それでも改善されない場合はお買い上げ販売店にご連絡ください。

Ⅱ.湿度警告表示

72時間以上庫内湿度が50%以下になると、アイコンが点滅します。



湿度が50%以上にならない限り、アイコンは点滅し続けます。
湿度を上げるには、水に濡らしたタオル等をセラー庫内底面に敷いてください。
逆に湿度が高い時は、セラー庫内底面にタオルなどを敷いてください（12ページ参照）。

Ⅲ.温度センサー異常警告表示

温度センサーが故障した場合、アイコンが表示されます。

トラブルが解決されない限り表示され続けます。
この場合、速やかに**お買い上げ販売店にご連絡ください。**

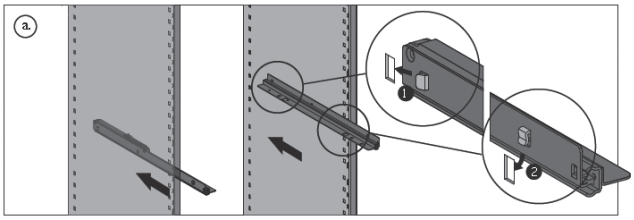
⚠注意 **作業の際はケガ防止のため、軍手等をご使用ください。**

I. プルミエ　引き出し棚<CS>のレール・貯蔵棚<SU>のフックの取り付け方

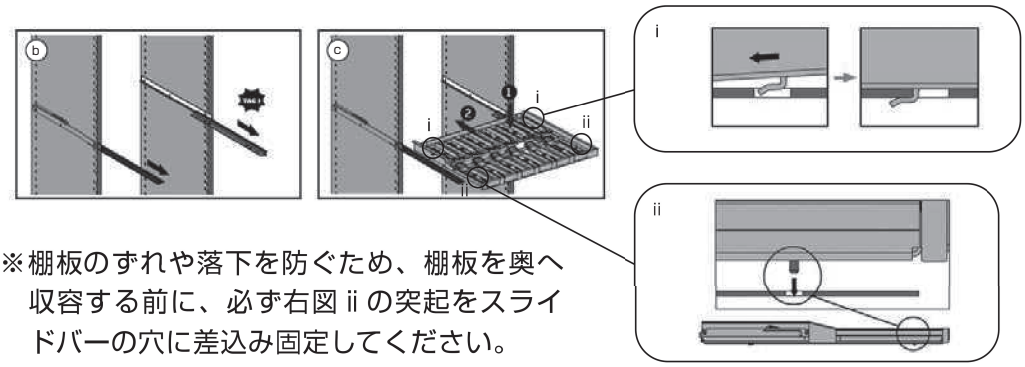
<引き出し棚のレール>

⚠注意 **ボトルが上の棚に干渉する場合は、棚を外すかレールの位置を調整してご利用ください。**

①左右のレールをそれぞれ庫内側面パネルの穴に水平に当て、レール奥の壁面側フック（図a-❶）を庫内奥の穴に差込み、レール手前の壁面側フック（図a-❷）を庫内手前の穴に上から垂直にしっかりと差し込みます。



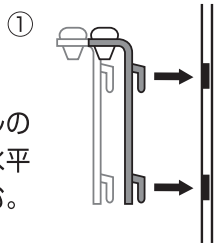
②レール内側のスライドバーを手前に引き出し（図b）、棚板を乗せます（図c）。棚板左右ｉの位置にある下向きのフックをレール内側のスライドバーに配置した四角い穴に入れ、奥へ滑り込ませて固定します（図ｉ）。続けて棚板手前下側の丸い突起を、スライドバーの丸い穴に差込み固定します（図ⅱ）。本体から棚をはずす際は、逆の手順となります。棚板手前を持ち上げ、図ⅱの突起を穴からはずしてから棚板を手前に引き、棚板奥の下向きフックをスライドレールからはずします。



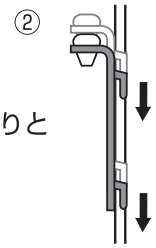
※棚板のずれや落下を防ぐため、棚板を奥へ収容する前に、必ず右図ⅱの突起をスライドバーの穴に差込み固定してください。

<貯蔵棚のフックの取付け方>

①本体アルミパネルの左右側面の穴に水平に当てて押し込む。



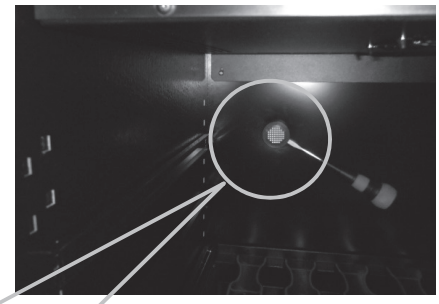
②垂直にしっかりと差し込む。



■日頃のお手入れについて

Ⅰ. カーボンフィルターの交換

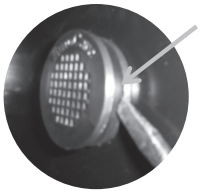
カーボンフィルターの脱臭効力は **約１年** です。
フィルター内の活性炭が劣化し固まると、通気を妨げることにもなりますので、**１年に１度の定期交換をおすすめします。**



作業手順

① カーボンフィルターを引き抜き（または背面から押し出し）、取りはずす。
はずれにくい場合はマイナスドライバなどを使って、てこの原理で少し持ち上げると、はずしやすくなります。

② 新しいカーボンフィルターを差し込む。
交換用のカーボンフィルターの購入はお買い上げ販売店までお問い合わせください。



本体側の枠とカーボンフィルターの隙間にマイナスドライバーなどを差し入れて手前に引いてください。
※本体側の枠をはずさないようにご注意ください。

Ⅱ. 夏季のお手入れ

結露水は、庫内の排水パイプから本体背面の排水受け皿へと流れて蒸発しますが、設置環境や季節により蒸発しきれない場合もございます。
そのため、６月～９月頃の多湿な時期には、庫内が湿度多湿の状態になりやすいので、セラー庫内底面のグリル棚の下にタオル等を敷き、庫内の水分を吸い取るようにしてください。その際にタオルは底面のひな壇にはかけないようにしてください。３日に1度程度の庫内点検をしていただく際に濡れていればタオルを交換してください。
室温が高くなる時季は、設定温度を上げて室温との差を縮めてください。

⚠注意

ここのアルミパネルには絶対に布やワインボトル等を当てないでください。結露が激しくなり、氷付きの原因になることがあります。

グリル棚下の窪んだ部分にタオルを敷いてください。

Ⅲ. セラーの清掃

●セラー背面のコンデンサー（黒い放熱網）の清掃は冷却能力維持のため、**半年に１度行ってください。**
※本体背面（特に冷媒配管）を傷つけないようご注意ください。可燃性ガスが漏れると危険です。

作業手順

①電源スイッチを切る。
②ほうき・はたきなどでほこりを落とす（ぬれた布などは絶対に使用しないでください）。
③清掃終了後、**10分以上たってから電源スイッチを入れる。**

●半年に１回程度は電源スイッチを切ってボトルを出し、庫内を掃除してください。
拭き掃除で十分ですが、洗剤を使う場合は中性洗剤を薄めてご使用ください。

■故障かな？と思ったら

下記の対処で状態が改善しなければ、お買い上げ販売店または当社へご連絡ください。
保証とアフターサービスについては15、16 ページをご覧ください。

故障かな？	考えられる原因	対処の仕方
電源が入らない。	電源プラグがコンセントに入っていない。	確実に接続がされているかご確認ください。
	電源コードが本体背面左より見て左下の差し込み口からはずれている。	
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーが落ちていないかご確認ください。
	ご使用のコンセントに十分な電圧が供給されていない。または、コンセント内部で断線している。	ワインセラーでご使用のコンセントに他の電気器具で通電しているかご確認ください。またはワインセラーを他のコンセントで通電をご確認の上、ご使用ください。
冷却稼動表示が点灯していない。コンプレッサーの稼動音が聞こえない。コンプレッサーが故障して冷却していないのでは？	温度設定数値とデジタル温度表示の数値が近くなっている(設定数値の±2℃の範囲内）。	左記のような状態の場合は冷却稼動の必要がありませんので、コンプレッサーは停止し、冷却稼動表示のアイコンは点灯しません。故障ではありませんので、対処の必要はありません。
冬季になって、今までより湿度が低くなっている。	低温少湿の場所に設置すると、庫内の湿度もそれに伴い低くなります。冬季になり、空気が乾燥しているために、セラー内へ取り込む空気も湿度が低い状態になっています。また無人の部屋などで空気の入れ替えが少ない状態であるとか、外気温と庫内温度の差が少なくて、コンプレッサーの稼動頻度が少ない場合は庫内奥壁への結露作用が低くなり、湿度が低くなることも考えられます。	オプションの保湿材に水を含ませてグリル棚の下へ入れるか、水を含ませたタオルを庫内底面に敷くと庫内の湿度がゆっくりと上昇します。（12ページ参照）
氷りつき(霜)が激しい。	設定温度が低い、もしくは室温（ワインセラー設置場所）が高く、冷却が止まらない。	氷や霜がつきすぎたときは、必ず電源を落として溶かしてください。アイスピック等鋭利な道具を使用すると、庫内奥の壁が傷つき、可燃性ガスが漏れる恐れがあります。また、ドライヤーなど電気機器を庫内で使用すると、可燃性ガスに発火するなど、事故発生の恐れがあります。

故障かな？	考えられる原因	対処の仕方
• ボトルのラベルが濡れている。 • ドアまわりに水滴がつく。 • 氷りつきが激しい。 • 庫内やドアガラスの結露が激しい。	ドアパッキンの劣化や、密着が悪い等でドアが完全に閉まっていないと、外気が庫内に過剰進入し庫内の冷気との温度差によって結露する場合があります。	ドアと本体との間に何か挟まっていないか、ボトルがドアに当たっていないか確認し、ドアをしっかり閉めてください。パッキンが劣化しているようであれば、お買い上げ販売店または当社までご連絡ください。
	庫内奥壁の裏側には冷却配管が内蔵されており、例えると奥壁は氷が立っているような状態です。 奥壁にボトルの一部やラベル、ボトルに巻いている紙やラップが当たるとそこから結露が始まり、奥壁の氷りつきを誘発することがあります。	貯蔵棚に積み置きされたボトルや最下部のボトルが庫内奥の壁またはひな壇に当たっていたら、ボトルを壁より１ｃｍ程度離してください（6ページ参照）。
	カーボンフィルターの活性炭の効果は約１年続きますが、劣化するとフィルターからの換気が悪くなる可能性があります。	約１年ごとにカーボンフィルターの交換をおすすめします(12ページ参照)。
	設定温度が低い。 ドアガラスは外気温の影響を受けやすいため、庫内の冷却温度との差により結露することがあります。	庫内の設定温度を上げてください。 そうすることで外気温との差を減少させ、ドアガラスの結露はある程度解消されます。長期外出の際はドアガラスの真下にトレイ等を置いて、したたった結露水で床を傷めないような対策をしてください。
	高温多湿な場所に設置している。	現在の場所に空調器、換気を設けてください。または高温多湿でない場所に移設してください。
	放熱スペースが十分でない。	周囲に十分な放熱スペースを確保してください。もしくは設定温度を上げてください。
庫内の温度または湿度が安定しない。	庫内に収容されたワインの収容率が低い。	庫内収容量の75%以上収容することにより、動作が安定します。

故障かな？	考えられる原因	対処の仕方
引き出し棚がレールから脱落する。	レールと棚との幅がずれている。	膨張防止バーが外れていないのに棚がレールから脱落する場合は、棚板の幅を調整してください(11ページ参照)。
	Lサイズの中程に取り付けられている「膨張防止バー」がはずれている。	ワインの重みで本体が膨張しています。本体の膨らみを直してください。 ①庫内のボトルを全て取り出し、 ②2人で側面を瞬間的に押し、 ③もう1人が膨張防止バーの左右フックを元の穴に収めてください。 ※その際側面の板を押さずに「黒い枠」の部分に力をかけてください。板を強く押すと破損する恐れがあります。 （ケガ防止のために軍手等をご使用ください）

■こんなときには （運搬・停電などに際してのご注意）

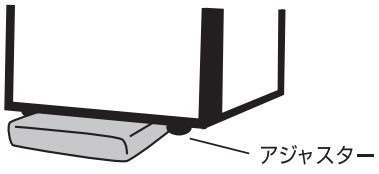
Ⅰ.運搬するとき

⚠注意

お客様が移動設置を行なう場合以下の点にご注意ください。

●コントロールパネルの電源スイッチ を切り、
必ず移動前に庫内のボトルをすべて取り出してください。

●搬送時の衝撃や振動により、ドアの重みでドアヒンジ・ドア受け金具・ネジなどが歪んでドアが傾いてしまうことがあります。
これを防ぐために搬送の際は必ず緩衝材（ダンボール等）を挟んでセラー底面と床との隙間をなくし、ドアを支えてください。（右図参照）



●ドアが開かないように、ドアと本体をテープ等でとめてください（鍵はかけないでください）。

●搬出入時、セラー背面のコンプレッサー及び配管に衝撃を与えないようにご注意ください。
損傷により可燃性ガスが漏れると危険です。

●運搬・設置の際にセラーを傾けている場合があります。コンプレッサー内のオイルや冷媒ガスが落ち着くまで、再設置後48時間は電源を入れないでください。設置後短時間で電源を入れるとオイルが配管に詰まり、コンプレッサー の故障につながることもあります。

●セラーの横積みは厳禁です。

●移設後は、再度各種設定をしてください（7 ページ参照）。

Ⅱ．停電のとき

●ドアの開閉を少なくしてください（外気の進入を防ぐため）。

●庫内に氷をたくさん入れた容器を入れておくと、温度が上がりにくくなります。

●停電から復旧したら、正常に運転しているか確認してください。

Ⅲ．長期間使わないとき

●高温多湿でない場所・床が丈夫で水平な場所・換気がなされる場所に保管してください。

●再度ご使用になるときは庫内を清掃した後、カビやにおいを防ぐため２～３日ドアを開けて乾燥させてください。

■保証とアフターサービス・廃棄処分について

1. (a)本製品の保証期間は納入日およびお買い上げ日より冷媒関係は満３ヵ年、その他電子機器パーツ・造作関係は満１ヵ年です。その期間内の工作上の欠陥による故障・損傷につきましては当社（日仏商事株式会社）または販売店にて無償修理いたします。

(b)保証期間を過ぎると、すべての交換部品および諸経費（修理先までの交通費・出動費・修理技術費）、または修理品本体のお客様設置先と当社との往復運搬経費などは有償とさせていただきます。

2. 次のような場合は保証期間内においても有償修理とさせていただきますのでご了承ください。
有償内容は前文１.（ｂ）と同等です。

(a) お客様（ご使用者）による使用上の誤りおよび修理や調整・移動による故障または損傷
(b) 天災地変による故障または損傷
(c) 排水、熱源導入等の不備による故障または損傷
(d) 本体に不適切な環境への設置による故障または損傷

3. ワインセラーの改造、分解が行われた場合は、修理対応致しかねますので、予めご了承ください。

4. 譲渡されたワインセラーにつきましては、保証書のご提示が無い場合、原則、修理対応はいたしかねますので予めご了承ください。

5. **本体故障による内容物（庫内商品）の損傷・劣化についての補償はいたしませんので、予めご了承ください。**
夏季には３日に１度、その他の季節は週に１度、庫内の温度と庫内背面パネルの結露の状態を確認してください。

Ⅰ.保証書（別送）

ユーロカーブは適正なカスタマーサービスを提供させていただくために、恐縮ながら保証書を添付しておりません。
同梱の**「保証書情報登録のお願い」**をご一読の上、**本製品納入後10日以内**に保証書情報の登録をお願い致します。
弊社のカスタマーサービスシステムに登録終了後、お客様宛に保証書をお届けいたします。
お手元に届きましたら内容をよくお読みいただき、本書と一緒に大切に保管してください。

Ⅱ.修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」にしたがってお調べください。それでも異常がある場合にはご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理依頼の連絡をしてください。
修理代金の構成内容は、上記 1.（b）と同じです。

Ⅲ.メンテナンスに際して

作業のためのスペースを確保していただくようお願いいたします。
建物作りつけ内装設備等からのワインセラーの取り出し、および再収納はお客様にてお願いいたします。
また、作業前後のセラーからのワインのお取り出し、および再収納はお客様にてお願いいたします。

Ⅳ.保証期間

保証期間はお買い上げから1年間です。また、冷媒循環回路（コンプレッサー・冷媒配管等）は3年間です。
アフターサービスについてご不明な場合、修理のご相談やご不明な点はお買い上げ販売店へお問い合わせください。

Ⅴ.保証期間中の修理

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従い、当社またはお買い上げ販売店が出張修理させていただきます。

Ⅵ.保証期間後の修理

保証期間後は有償修理とさせていただきます。詳しくはお買い上げ販売店へご相談ください。
保証期間を過ぎると、すべての交換部品および諸経費（修理先までの交通費・出動費・修理技術費）、または修理品本体のお客様設置先と当社との往復運搬経費などは有償とさせていただきます。

●修理の際には保証期間の内外にかかわらず、以下のことを予めご連絡ください。

・型式（別送の保証書に記載）
・製造番号（別送の保証書に記載）
・お買い上販売店
・お買い上げ日
・お名前・おところ・電話番号
・故障の状況（できるだけ詳しく）

Ⅶ.廃棄処分について

●ワインセラーを廃棄する際は、必ず家電リサイクル法に基づいて処理を行ってください。
●ユーロカーブのいくつかの部品は再利用可能なものを使用しています。廃棄方法がご不明な場合はお買い上げ販売店もしくは弊社までお問い合わせください。
●廃棄される際にはお子様が入ったりしないように、必ず施錠し、電源コードを抜くか切断して使えないようにしてから処分をしてください。

Ⅷ.その他・ご注意

この取扱説明書に書かれた内容は、予告なしに変更することがあります。

●本書に書かれている通常以外の特別な使い方をした場合、保証はいたしません。
●いかなる場合においてもワインセラー本体、付属品以外の保証はいたしかねます。
●この取扱説明書のすべて、或いは一部分のコピー、複製、または翻訳は、すべてユーロカーブ社及び日仏商事株式会社の予め書面による同意がなければ厳禁とします。

■仕様

■La Première（ラ・プルミエ）

型　　式	ドアの種類	収容本数*1	寸法(mm)			付属棚の種類と枚数		重量(kg)		容量(L)	使用可能外気温(℃)	定格消費電力(W)*4 50/60Hz
			W	D*3	H	CS	SU	本体	収容時*1			
La Première-S-C-PTHF	PTHF	74	680	690	960	5	—	74	171	205	0～30	62/78
La Première-M-T-STD	STD*2	169	680	690	1480	1	3	78	298	356	0～32	69/78
La Première-M-T-PTHF	PTHF	169	680	690	1480	1	3	89	309	356	0～30	69/78
La Première-M-C-STD	STD*2	140	680	690	1480	10	—	103	285	356	0～32	69/78
La Première-M-C-PTHF	PTHF	140	680	690	1480	10	—	114	296	356	0～30	69/78
La Première-L-T-STD	STD*2	213	680	690	1825	1	3	88	365	457	0～32	73/82
La Première-L-T-PTHF	PTHF	213	680	690	1825	1	3	102	379	457	0～30	73/82
La Première-L-C-STD	STD*2	182	680	690	1825	14	—	128	365	457	0～32	73/82
La Première-L-C-PTHF	PTHF	182	680	690	1825	14	—	142	379	457	0～30	73/82

AC100V単相　50/60Hz　アース取付け　フォーク端子　冷媒R600a(イソブタン)
製造国 フランス

＊1　長さ30cm、直径7.5cm、重さ1.3kgのボルドーボトルでの均一換算。
＊2　<ドアの種類>　PTHF:二重スモークガラスドア　STD:標準ドア
＊3　背面保護金具を取り付けると、奥行が30mm大きくなります。
＊4　空のセラーを庫内設定温度12℃、環境温度25℃(湿度65%)で30分間稼動した状態の数値です。

プルミエの冷媒には
可燃性ガスR600a(イソブタン)を
使用しています。

■様々なタイプの収容棚

セラーの収容棚は必要に応じて追加することができます。

La Première（ラ・プルミエ）

（収容例）

ソムリエの手 引き出し棚(CS棚)

様々なタイプのボトルに対応します。

ユニバーサル貯蔵棚(SU棚)

様々なタイプのボトルの貯蔵に適しています。

引き出し棚用 ディスプレイキット(CK棚)

引き出し棚（CS）に取り付けるオプションです。(組み立て式)
引き出し棚(CS棚)は別売りです 。

ティスティング棚(D棚)

引き出し式でワインを最大20本まで立てることができます。

※デザイン、仕様、カラーなどは予告なしに変更することがあります 。

MEMO

MEMO

MEMO

ユーロカーブ総輸入元
日仏商事株式会社
NiChiFUtSU SHOJI CO.,LTD.
本　　社 〒651-0087 神戸市中央区御幸通5-2-7 TEL 078-771-5002 FAX 078-265-5846
東京事業所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-20-27 TEL 03-5778-2495 FAX 03-5778-2489
http://www.eurocave.jp

2023.4